

パナソニック京都ビル建物見学!

中村設計新聞

第百十六号
十一月一日
晴れ

「はじめに」

十一月の土曜研修の午後は、ZEB化を達成したパナソニック京都ビルにて、勉強会を行いました。

ZEBとは、Net Zero Energy Buildingの略称で建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目標とした建物のこと。従来に必要なエネルギーを省エネによって減らし、さらに建物内で創エネすることで消費エネルギー量をまかなおうという取り組みです。

「勉強会を終えて」

ZEBにはランクがあります。パナソニック京都ビルは、建築的な改修は行わず、設備改修による省エネ化のみで消費エネルギーを50%削減しZEB Readyを達成した既存の建物です。

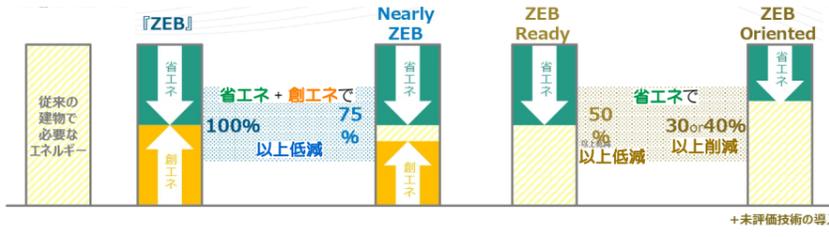
LED照明の採用、照度を抑え、AI搭載の空調設備を試用運転するなど、非常に高度で多彩な技術を実現されていました。その実物や空間を間近で見て当社の事務所設備機器の違いを実感するとともにZEBの視点から建物の環境を見つめ直す良い機会となりました。



快適な空気環境をつくる「エアソリューション」



パナソニック京都ビルオフィスの様子



ZEBランク簡略図

写真コンテスト結果発表!

「写真コンテスト」

十月の研修旅行(鎌倉・横浜)にて、土曜研修企画「中村設計研修旅行写真コンテスト」を開催しました。今回は「景色の映え写真」「乗り物からの映え写真」「食べ物の映え写真」の三部門に分けて作品を募集。所員による投票を行い、出展総数37作品から各部門1位に輝いた作品を発表しました。玄関には最優秀作品を掲示しておりますので、事務所にお立ち寄りの際は是非ご覧ください。

最優秀賞 『夜に輝く横浜』

大村 周平



「食べ物の映え写真」部門

最優秀賞 『シウマイは5つでした。』

豊田 和弘



【乗り物からの映え写真】部門

最優秀賞 『江ノ電の車掌になった気分をどうぞ』

榎田 武典



～全員会～

午前には第55回決算報告会・第56期第1回全員会を開催。決算報告、今期の取組み方針を所員全員で共有しました。夜には食事会も開催され、今期に向けて気持ちの切り替えになりました。



全員会の様子

～クリスマスツリーの季節～

毎年恒例のクリスマスツリーを飾り付けました。ツリーを見ると一気に年末モードとなります。今年も残りも全力で頑張ります!



きれいに飾り付け出来ました!

所員の休日 TOPICS

「長岡京ガラシャ 祭り2023」

1988年より開催し今年で30回記念となる祭りです。細川忠興と細川ガラシャ(細川玉、明智光秀の娘)を中心に長岡京市に関わる歴史上の人物に扮した総勢千名の行列が市内を練り歩きます。細川忠興、玉は百五十組を超える応募により決まるのですが、あとの役は指名です。なんだか分からぬまま参加決定しつつの間にか平安時代の「藤原基経」の家臣役となりました。当日、昼過ぎより十五時まで市内を練り歩き、あまりにも重い衣装と薄い草履により、全身疲労と足裏の痛みと共にトイレに行けないくらいフラフラとなりました。観光客の撮影協力したとき、コスプレの楽しさを体感した貴重な体験でした。

岩田 信一



右端: 藤原基経(岩田)

「事はじめ」

十二月の二三日の京都では「事はじめ」という習わしがあります。花街の芸舞妓がお茶屋の女将や芸事の師匠に挨拶回りを行い、正月へ向けた準備を始めます。かつてはこの時期に鏡餅や門松を飾っていたことが由来とされています。京都らしい雅な冬のスタートです。

次号は12月27日発行予定です。